

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		緊急一時保育事業費 [緊急一時保育事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 4	子育て支援費	事業番号	6	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	保育		課		保育・幼稚園		係	課長名	関田 孝志
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4	
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 要綱に定める保護者の理由要件を満たす、満1歳から就学前までの児童				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 1～5歳の児童数(4月1日時点)				
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 子育てに喜びを感じ、安心して子どもを産み育てることができる。子ども達が心身ともに健やかに成長する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 利用件数				
	→								
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 市内保育園1園への委託契約(狭山保育園は公設公営につき契約不要)、利用申請・決定や保護者負担金収納、委託料支払事務を行う他、市報、ホームページ、ハンドブック等で周知している。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 利用日数				
	→								
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	3,634	3,552	3,439			
	成果指標	②の数値	人	4.0	1.0	3.0			
	目 標	②の目標値							
		目標値設定の考え方 東大和市子ども・子育て支援事業計画							
活動指標	③の数値	延日	53	20	40				
3 経費	事業費(実績)		円	380,800	209,000	126,100	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	249,900	193,700	58,100			
		特定財源(国・都・他)	円	130,900	15,300	68,000			
		(うち受益者負担)	円	130,000	15,300	68,000			
		所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1			
	人件費(目安)	所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000			
		職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	1,205,200	1,040,000	964,100				
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成23 年度								
	(2) 環境の変化 緊急時対策事業の一環として公立保育園の通常事業で実施していたが、平成23年度の向原保育園の民営化に伴い、平成23年度から事業の一部を委託することとなった。								

事業名称	緊急一時保育事業費 [緊急一時保育事業]			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田孝志

5
市民等の意見

この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

緊急一時保育で利用できる保育園が自宅から遠いため、利用しづらいという意見があった。

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ

☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）

申請後に利用のキャンセルが発生した事例があった。受入体制等の調整が必要な保育施設に迷惑をかけてしまうため、申請後のキャンセル不可や利用料が生じる等の検討が必要である。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。

・ヒアリングシートを作成し、利用相談があった際の聞き取りを強化した。

・次年度に向けて事業内容の見直しを行った。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

事業内容の見直しで生じた変更点を整理し、マニュアル化する必要がある。また、市民への周知が必要である。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 児童福祉の推進

☒ なっている

☐ 環境の変化等により成果が減少している

☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある

事業名（ ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

・受け入れ先の保育園等と調整をしながら、運用方法を適宜見直す。

・引き続き、制度に関する周知を行っていく。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

・マニュアルや事業案内の作成。